

漁業者：共存への道の模索

- ・生態（食性）情報提供と巻き込み
- ・Branding・認証制度の方法探求
- ・「新しい漁業者」を作る
- ・漁業形態による違いも考慮

観光業：持続可能なWW

- ・生態情報提供（Give & Take）
- ・インタープリター（ガイド）養成
- ・持続可能なWWへのモニタリング

行政：Win-Win

- ・地域固有問題への解決探求（町おこしなど）
- ・「正直者がバカを見ない」制度の確立への道

研究バーチャル拠点

- ・各個体群の関係性
- ・移動追跡・予測マップ
- ・食性・生態・形態比較研究
- ・個体群健全性モニタリング
- ・混獲回避方法
- ・その他生物学的問い

各地域研究

- ・個体識別
- ・個体数変動
- ・その他

- ・サンプリングフォーマット統一
- ・共通研究機器をそろえる
- ・各地域間での人的交流

地域住民：環境教育と意識向上

- ・住民への情報提供と巻き込み
- ・環境教育を通じ親和性を高める
→ ESDプログラムイルカ版？
- ・地域固有問題への解決探求
（地方創生・町おこしなど）

一般市民：Awareness ↑

- ・広報による浸透
→ 一般向けの本、特集等
- ・市民参加型：情報集約
→ HPなどで情報受付